



静岡市 いきもの 散策マップ

麻機遊水地コース
あさはた緑地・麻機遊水地第3工区

しょくぶつ

● ミスアオイ



沼や田んぼに見られる植物で、7～10月に青紫色の花を咲かせます。近年、農薬などの影響で数を減らしています。



水辺に自生する植物で、葉がカマヨリやアザミに似ています。夏にソーゼンシのような形をした、赤色の花を咲かせます。

● ハス



7～8月に大きな紅色の花を咲かせる水辺の植物です。根はレンコンの名で知られ、食用とされています。

● タコノアシ



水辺に育つ植物で、小さな花がたくさん並ぶ緑の葉が特徴です。足に付いていることから、この名が由来です。

● オモダカ



田んぼや沼池に見られる植物で、8～10月に白色の花を咲かせます。矢張り、花のような葉が特徴です。

● シロバナサクラダデ



休耕田や草地に生える多年草で、全国に広く分布し、8～11月に白い花を咲かせます。

● カンガレイ



カヤツリガ科の植物で、水辺に生じます。葉が三角の断面を持つツグクサに似た姿の植物です。

● オギ



ススキに似ていますが、オギは茎が1本ずつ生じます。ススキは乾いたところ、オギは湿ったところに生じます。

むし

● アキアカネ



はねを広げると6cmくらいで、ナツアカネと違って、頭や胸は赤黒い赤い色をしています。成虫は6～12月に見られます。

● ウチワヤンマ



はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにつちの壁の突起があります。成虫は5～9月に見られます。

● ショウジョウトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボで、成虫は6～12月に見られます。オスは赤い、メスは黒い色の体をしています。

● チョウトンボ



はねを広げると7cmくらいで、青く幅広いはねでチョウのようにフラフラ飛びます。成虫は5～9月に見られます。

● コシアキトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボです。黒いのお腹の一部は白くして見えます。成虫は5～10月に見られます。

● キタキチョウ



主に林のまわりに住み、成虫で冬を越すため、ほぼ1年中見ることが出来ます。幼虫はママ科の植物を食べます。

● ペニシジミ



タデ科のスイバやギンギョウの葉の裏側や油のまわりで、春のはじめから見ることが出来ます。

● オオスズメバチ



日本最大のスズメバチで、日本のでは最も強い毒を持ち、春のはじめから見ることが出来ます。土の中などに巣を作ります。

● ご注意

日本最大のスズメバチで、日本のでは最も強い毒を持ち、春のはじめから見ることが出来ます。土の中などに巣を作ります。

アクセス情報



【バスでのアクセス】
麻機小学校バス停まで
1. 静鉄バス静岡駅前バスターミナル 16 番乗場より「大浜麻機線 [7] 麻機行き」に乗る。
2. 「麻機小学校」にて下車。徒歩約7分であさはた緑地に到着。

緊急連絡先

・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
・消防 119 番
・警察 110 番

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒシなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。
- コース周辺の私有地には駐車しないでください。

制作: NPO 法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者: 静岡市環境局
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492
制作年: 令和5年2月

とり・どうぶつ

● オオヨシキリ



夏鳥
ヨシの根で半白のヨシ、ギョギョシと叫びながら飛びまわります。春に日本へやってくる渡り鳥です。

● ミサゴ



冬鳥
カラスくらいの大さきのカケ、海岸や河川などの上空を飛びまわり、水に飛び込んで魚をつかまえます。

● ニホンノウサギ



全身は茶色ですが、お腹だけ白い色をしています。主に夜に活動して、葉や芽や皮などを食べます。

● カヤネズミ



日本最大のネズミです。低地の田んぼにすみ、ススキなどの葉で球形の巣をつくって子育てをします。

● コアジサシ



夏鳥
ハトより小さく、ほっそりとした鳥です。海や川、湖沼の上を飛びまわり、空から水に飛び込んで魚をつかまえます。

● ノビタキ



夏鳥
スズメより小さな鳥で、静岡では春と秋だけ見られます。寝ている昆虫などを空中でつかまえて食べます。

● タヌキ



人里でもよく見られる本州最大のハネ、オウサマに比べ足が短く、ずんぐりした体型です。雑食で、小動物や果実など何でも食べます。

● ニホンイタチ



40～55cmくらいの中型の哺乳類です。頭は、主にネズミや昆虫で、水に入り魚をとることもあります。

● モズ



留鳥
スズメより大きな鳥です。「チリチリチンチン」「チンチンチン」など高い声でさままに鳴きます。人家の庭先でも見られます。

● カイツブリ



留鳥
ハトより小さな鳥で、全身が水色をしています。水中に潜って魚をとって食べます。

● アオダイショウ



全長1～2mになる本州最大のカタツムリで、全身が茶色です。背の表面に黄色い縞模様があり甲羅には3本のタテジ線があります。

● クサガメ



甲長10～25cmになる本州最大のカタツムリで、全身が茶色です。背の表面に黄色い縞模様があり甲羅には3本のタテジ線があります。

● カワラヒワ



留鳥
スズメより大きな鳥で、飛ぶと翼が黄色い。黄色い縞模様が特徴的な鳥です。雑木林などで見られます。

● カワセミ



留鳥
静岡市の鳥です。スズメより少し大きく、あざやかな水色をしています。水中に飛び込んで、魚をとって食べます。

● ヌマガエル



体長30～70mmくらい、ツツガエルの濃いお腹が白く、所々で、水辺に生息し、近年増えているように思われます。

● アズマヒキガエル



体長9～15cmになるアズマヒキガエル。繁殖の近くから産卵場へ移動し、産卵場へオスははやくクッククックと鳴きます。

外来生物

特: 特定外来生物

● ミシシッピアカミミガメ 特



幼体はミドリガメと別物に似ていますが、成長すると、捨てられたカメが繁殖しています。

● ウシガエル 特



体長20cmにもなる外来種のガエルで、池や沼、湿地にすんでいます。「ブーブー」と牛に似た声で鳴きます。

● カビチョウ 特



冬鳥として渡来するカモの仲間。池、河川、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠毛が特徴です。

● オオクチバス 特



ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広がった外来魚です。池や沼にいる他の魚を食べています。

● カダヤシ 特



オス3cm、メス5cmくらい。形はメダカに似ているが、卵胎生です。ボウフラの幼虫のみに寄生され、全国に広がりました。

● アカボシゴマダラ 特



後ろの翅に赤い斑が特徴的なアキアカネの仲間です。近年、急速に分布を広げ、市々でもよく見かけるようになってきました。

● オオキンケイギク 特



北アメリカ原産の外来種で、現在は特定外来生物に指定されています。5～7月に黄色い花を咲かせます。

● オオフサモ 特



緑色の葉を持つ水生植物で、原産は南米のアマゾン川です。その繁殖力が強く、特定外来生物に指定されています。

他にもたくさんの生きものがいるよ！
QRコードからのぞいてみよう!!



メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!! (ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そこから情報をご提供ください)

静岡いきもの 市散策マップ

麻機遊水地コース

あさはた緑地・麻機遊水地第3工区



- 一般道路
- 遊歩道
- 敷地内道路
- 河川
- バス停
- トイレ
- 駐車場



麻機遊水地のトンボ

麻機遊水地では、春から秋にかけて多くのトンボの仲間を観察することができます。



リスアカネ



オオアオイトンボ



キイトンボ

湿地植物の保護

麻機遊水地第3工区では、ミズアオイなどの貴重な湿地植物などを守るため、ボランティア団体が保護・管理活動を行っています。

初夏から秋にかけて色々な湿地植物を観察することができます。

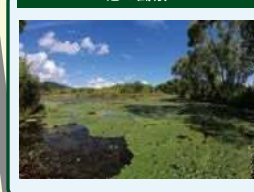


ミズアオイの花 (秋)

あずまや



池の風景



観察小屋



トイレと駐車場



ハラヒロトンボ



オオヨシキリ



ミズアオイ



チョウトンボ

麻機遊水地 第3工区

観察小屋

国立病院機構 静岡
てんかん・神経医療センター
静岡県立こども病院



ハス



ノヒタキ

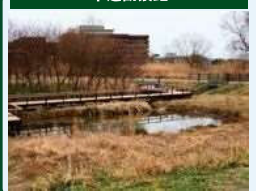


ノスリ

センターハウス



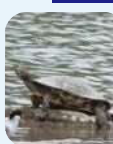
木道観察路



外来生物



ウンカエル



ミンシッピアカミガメ



オオキンケイギク



ホテイアオイ

水辺の野鳥



カワウ



アオサギ



カルガモ



ダイサギ

静岡市
中央卸売市場

74

麻機街道

大瀬川

巴川

流通センター通り



麻機遊水地

あさはた緑地・麻機遊水地第3工区

この一帯は、昔は「浅畑沼」と呼ばれた湿地帯で、一面アシが生い茂っていました。1974年（昭和49年）7月7日に発生した七夕豪雨で、大きな水害が起き、その後の治水のため、遊水地としての整備事業が行なわれてきました。流通センターに隣接した第3工区には、野鳥観察所やあずまやが設置され、多くの野鳥や昆虫、植物の観察者が集まります。

あさはた緑地は、自然とふれあう体験型の都市緑地として整備された公園です。

むし トンボ

● ハグロトンボ 体長6cmくらいで、まぶたはむしめがはみ、オスの腹部は鮮やかに輝くが、メスは光沢がありません。	● マユタテアカネ はねを広げると6cmくらいのアカトンボの仲間です。夏は森の近くにいる秋にはよると水辺に出でます。腹面に黒のような斑紋があります。
● アオモンイトトンボ 体長3cmくらいのもっと小さいトンボです。オスは腹の先端の青色が目立ちます。	● コフキトンボ はねを広げると7cmくらいで、池沼の岸辺に住みます。体はすんぐり丸く、緑色の全身が特徴です。成虫は広葉樹の葉を食害します。
● ギンヤンマ はねを広げると10cmくらいで、オスは腹の根元が青と緑色です。白中に黒い斑紋が特徴です。	● ウスバキトンボ はねを広げると10cmくらいで、名前のとおりは、体は薄く、トポです。世界で最も広く分布しています。
● オオヤマトンボ はねを広げると10cmくらいで、緑色の腹と黒い腹部の斑紋が特徴です。川の上を専ら泳いでいます。	● ヨツボシトンボ はねを広げると7cmくらいで、はねの前縁に黒い斑紋が特徴です。川の上を専ら泳いでいます。

むし コウチュウ

● コハンミョウ 1cmくらいの子供のハンミョウです。地面に産卵し、土を掘り、木を食害します。	● ゴマダラカミキリ 体長25～35mmの大型のカミキリです。全身が黒く、斑紋があります。都市部の雑木林などで見られます。
● アオドウガネ 体長17～26mmのカミキリです。体はすんぐり丸く、緑色の全身が特徴です。成虫は広葉樹の葉を食害します。	● キボシカミキリ 体長15～30mmのカミキリです。黒地に黄色の斑紋があります。幼虫はアブラムシなどの害虫を食害します。
● コガネムシ 体長17～23mmのカミキリです。体は光沢のある緑色、赤紫などがあります。成虫は広葉樹の葉を食害します。	● ヨツモンカメノコハムシ 体長7～9mmで、扁平な体と大きな黒い斑紋が特徴です。食害のメトリヤなどによく吸蜜します。
● カメノコテントウ 体長11～13mmの大型のテントウムシ。成虫はツルハムシやハムシ類の幼虫を食害します。成虫は冬に死みます。	● オジロアシナゴソウムシ 体長9～10mmのカミキリです。普通に見られるツルハムシやハムシ類の幼虫を食害します。成虫は冬に死みます。

むし チョウ・その他

● アオスジアゲハ 黒地に白い3本のストライプと、前翅の長さ2.5cmくらいで、春から秋まで雑木林の林縁で見られます。	● コミスジ 黒地に白い3本のストライプと、前翅の長さ2.5cmくらいで、春から秋まで雑木林の林縁で見られます。
● ウラギンシジミ シジミチョウの仲間では最大で、前翅の長さは3cmくらいで、植生を食害します。	● クロコムラサキ コムラサキの遺伝子で、地色が黒褐色、中央が白帯となっています。5、7、9月に発生し、ヤブや木の葉を食害します。
● ツバメシジミ 前翅の長さは1cmくらいで、早春から秋まで、川原などに多く見られます。食害のメトリヤなどによく吸蜜します。	● アカギカメムシ 体長2cmくらいのもっと小さいカメムシの仲間です。体は黄褐色で、アカカメムシを食害します。
● ダイミョウセリ 前翅の長さは1.5cmくらいで、平野部の林縁でよく見られ、活潑に飛び、はねを広げて止まります。	● トノサマバタ 緑色または褐色で、はねは黒と白のまだら模様の大きなバタです。7～11月に、空き地や河原などで見られます。

とり

● オオハクチョウ 冬鳥 全長150cmくらいで、大型の鳥。冬はシベリアの湖で越冬し、春は日本に帰ります。	● コガモ 冬鳥 全長35cmくらいで、小型のカモ。冬はシベリアの湖で越冬し、春は日本に帰ります。	● イソヒヨドリ 留鳥 全長20cmくらいで、平地から山地の森林外に生息しています。近年は都市部でも見られます。	● ハクセキレイ 留鳥 全長21cmくらいで、平地から山地の森林外に生息しています。近年は都市部でも見られます。	● コシアカツバメ 夏鳥 全長19cmくらいで、春に繁殖し、夏に渡ります。ツバメより少し大きく、色が赤褐色になります。	● メジロ 留鳥 全長12cmくらいで、からだの上は白く、胸の部分が黒く、目のまわりは白色、頬は黄色になります。
● カルガモ 留鳥 全長60cmくらいで、1年中見られます。オスメスとも同色で、湿地の鳥の中などで繁殖します。	● オオバン 冬鳥 全長37cmくらいで、全身黒く、クチノ上の頬が白い。近年減少する種が増加し、よく見られる鳥です。	● アオサギ 留鳥 全長93cmくらいで、翼を広げると160cmくらいで、大型のサギで、名前のとおり、青がかった灰色です。	● キセキレイ 留鳥 全長20cmくらいで、胸の部分が黒く、腹部に黄色い帯があります。主に山地の川沿いに1年中見られます。	● シジュウカラ 留鳥 全長15cmくらいで、背の部分が黒く、胸の部分が灰色の帯状の模様があります。平地から山地の林や、市街地などに見られます。	● キジバト 留鳥 全長33cmくらいで、くちくちと羽音が特徴です。トビと似たような鳴き声で、空高く飛びます。ヒートアップと鳴きます。
● ヒドリガモ 冬鳥 体長48cmくらいで、雄は頭が茶色、体は灰色です。メスは全体が茶褐色です。ヒューと独特の声を鳴きます。	● ケリ 留鳥 体長35cmくらいで、田んぼの畔などに巣を作ります。外敵が来るとケリケリと大きな声で、飛びながら威嚇します。	● ダイサギ 留鳥 全長100cmくらいで、大型のサギの仲間です。水辺で釣った魚などを捕食します。	● セグロセキレイ 留鳥 全長21cmくらいで、頭から背にかけて黒く、主に水辺で1年中見られます。日本特産種です。	● ヒヨドリ 留鳥 全長28cmくらいで、全身が茶褐色、長めの尾を持っています。樹林から山地の林や、市街地でも1年中見られます。	● トビ 留鳥 全長60cmくらいで、タカの仲間です。トビと似たような鳴き声で、空高く飛びます。ヒートアップと鳴きます。
● マガモ 冬鳥 全長60cmくらいで、オスは頭が緑色で、体は茶褐色です。メスは全体が茶褐色と黒褐色のまだら模様です。	● カワウ 留鳥 全長90cmくらいで、全身が黒く、水中に潜る魚を丸呑みします。水辺の葦や木の上に泊まっているのが見られます。	● コサギ 留鳥 全長60cmくらいで、1年中見られます。他のサギとは頭が黒く、口が黄色いので区別できます。	● コゲラ 留鳥 全長15cmくらいで、小型のツツキで、キーンと鳴きます。木の皮の下の虫を食べて食べます。	● ムクドリ 留鳥 全長24cmくらいで、小型のツツキで、キーンと鳴きます。木の皮の下の虫を食べて食べます。	● ハシブトガラス 留鳥 全長55cmくらいで、都市部から山地まで広く分布し、肉食性で、雑食性で、クワバシム、カバシム、カバカアと鳴きます。

さかな

● カワムツ 体長20cmくらいになる淡水魚で、主に川の上流～中流にすんでいます。オイカワに比べ、水の汚れに弱い魚です。	● オイカワ 全長約10cmの川魚です。繁殖期の5～8月で、オスは水色と褐色の縞模様の体色になり、ひれが赤色を帯びます。
● カマツカ 体長15～20cmくらいで、河川の中流の砂地に生息し、水生昆虫などを食します。	● モツゴ 体長8cmくらいで、河川の中流の砂地に生息し、水生昆虫などを食します。
● ギンブナ 一般的には、体長15～20cmくらいで、日本でも川や湖に多く見られます。雑食性で、水生昆虫や植物などを食べます。	● ニシシマドジョウ 体長6～7cmくらいで、河川の中流の砂地に生息し、水生昆虫などを食します。
● シマヨシノボリ 全長5～6cmくらいで、川の中流の砂地に生息し、水生昆虫などを食べます。	● トウヨシノボリ 体長4～10cmくらいで、川の中流の砂地に生息し、水生昆虫などを食べます。